

第 1 回摂津市デリバリー方式選択制中学校給食検討委員会の概要について

開催日時 : 平成 25 年 8 月 14 日 (水) 10 時～11 時 30 分

開催場所 : 摂津市役所新館 7 階 講堂

出席委員 : 保護者代表 尾崎 美穂 委員  
摂津市学校給食会会長 敷本 悟 委員  
中学校校長会代表 筒井 豊 委員  
中学校教頭会代表 竹田 浩昭 委員  
小学校栄養教諭代表 西村 ゆり子 委員  
食育担当中学校教諭代表 濱西 加代子 委員

委員長選出 : 委員互選により摂津市学校給食会会長 敷本悟委員を委員長に選出  
委員長により職務代理者を中学校校長会代表 筒井豊委員を指名

議 事 :

- (1) 会議の公開 (会議録・傍聴等) について  
傍聴及び会議の要点録の公開とする
- (2) これまでの経過と今後のスケジュールについて
- (3) デリバリー方式中学校給食の提供方法について

「中学校給食導入事業におけるこれまでの経過及び資料」・・・ A	
平成 23 年度検討委員会報告書・・・	資料 1
平成 24 年度中学校給食実施に向けた説明会資料・・・	資料 2
平成 24 年度中学校給食に関するアンケート結果報告・・・	資料 3
平成 24 年度中学校給食検討委員会関係資料・・・	資料 4～7
摂津市中学校給食スケジュール (予定)・・・	資料 8
大阪府下デリバリー方式中学校給食実施状況・・・	資料 9
近隣視察自治体における中学校給食実施状況・・・	資料 10
中学校給食提供方法比較表・・・	資料 11

} 事前配布資料

<事務局より説明事項>

- 上記資料 A をもとにこれまでの検討経過について
- 上記資料 8 をもとに今後のスケジュール
- 上記資料 9 をもとに府下のデリバリー方式中学校給食実施状況
- 上記資料 10 をもとに近隣視察自治体の実施状況及び提供方法
- 上記資料 11 をもとに提供方法の比較説明
- 提供方法についての論点の説明
  - 1. 副食（おかず）について、冷たくするか温かくするか。
  - 2. 主食と副食以外に汁物等の 1 品を加えるかどうか。
  - 3. その他
- サンプルをもとに弁当箱の説明

(主な意見等)

- お弁当の箱の種類は 1 種類なのか。中学生は体格が様々で、よく食べる生徒と食べられない生徒がいる。女子生徒だと食べ切れなくて残してしまう罪悪感があったり、また残すことが当たり前になってしまうのも嫌だと言う保護者の意見もある。男子生徒の場合はごはんが足りなくて家からおにぎりを追加で持っていかないといけないことになる。ごはんをしっかり詰める、軽く詰めるなどして、同じ容器でもごはんの詰め方を変えて、量を変えることはできないか。保護者からはそういった意見がある。
- 平成 19 年から 3 年間、吹田市の豊津中学校に赴任しておりデリバリー選択制の給食を経験している。実際に実施してみて、豊津中学校では喫食率 60% を超えたこともある。ただ、魚の日や野菜の日は喫食率が低かった。ハンバーグやカレー、ピラフ等は人気があった。事前にカラーの献立表が掲示されて、それを見て子どもたちが選ぶというのが楽しい時間でもあった。予約についてはインターネット、マークシート、コンビニ振込みなどがあった。安全でおいしい給食が食べられるということで、保護者も安心できていい方法だと感じた。
- 給食として衛生管理ははずせない。温度管理が不適切だと菌が繁殖してしまう。また栄養面も大切で、子どもたちが好きなものだけを提供するのではなく、魚や野菜もバランスよく献立に取り入れれないといけない。  
家庭弁当やコンビニ弁当と比べたときに、給食が魅力的なものであるようにするならば、汁物等をつける方がいいと思う。衛生面で考えると、おかずを 65℃以上で配送することは不可能だと思うので、せめて汁物だけでも温かいものがあればお弁当としても雰囲気が変わると思う。

- 震災に遭われた人たちに、「パンやおにぎりの物資はたくさん届いたが温かいものは届かず、久々に温かいものを食べたときに喜びを感じた」という話を聞いた。何か1つでも温かいものがあればおいしさを感じると思うので、汁物はあった方がいいと思う。おかずについては、スチームコンベクションオーブンで温めると冷たく提供すべきものも温かくなってしまうので、おかずは冷たくても温かい汁物があればいいと思う。
- 自分も今業者弁当を食べているが、そこに汁物があれば見た目も変わるしおいしいと感じることもあると思う。副食を冷たくするか、温かくするかだけを考えて温かい方がいいと思う。ただ、そのために大掛かりなことをしないといけないデメリットを考えると、冷たいままでいいと思う。中学生は汁物容器があっても教室まで運べると思うが、できるのであれば揺らしても汁物が落ちないような容器があれば理想である。
- ごはんの量については吹田市でも意見が出た。ごはんは2つ注文できないか以前検討委員会で提案してみたが難しいということだった。実際は、食べられない子が食べられる子に教室でごはんをあげたりしていた。  
自分の感想としては、ボリュームは多くも少なくもなくちょうどだった。温かいごはんに冷たいおかずだったが、そんなに違和感なくおいしくいただいていた。
- 保護者から、ごはんを2つ頼むことは可能かという意見が出ていた。
- 献立にお肉を入れて欲しい。  
小学校ではお箸をつける前に自分でおかずを減らしにいくが、給食参観に行くとその列が長蛇の列になっているのを見る。中学生はお弁当の方がいいという意見が多いのは、やっとな給食の好き嫌いから逃れることができるという気持ちからだと思う。栄養面等もあると思うが、お肉を入れてもらおうとありがたい。親としては魚も食べてもらいたいので、少し横に魚を添えてもらおう等もして欲しい。魚メインになると注文する子が少ないと思う。
- 中学校になるとクラブ活動などもあり活動量も増えてきてたくさん食べる生徒もいると思う。厳密には、個人の身長や体重や活動量からその人に必要な栄養量が出るが、実際のところは1人1人にそれを出すことは出来ないなので、基準の量で栄養価をそろえている。ごはん2つというのは、小学校給食でいう「おかわり」を個人的に用意しておく形になると思うが、栄養面で考えると2つは少し食べすぎかなと思う部分もある。  
保護者の方からすると量の面など不安もあると思う。私たち委員はまだ1度も中学校給食を食べたことがないので、試食の機会があればいいと思う。

- 今の方向としては、副食については冷たいもので提供し、汁物等の1品を加えるという意見が多いので、その方向で進めていいか。(委員長)

【各委員、特に異議なし】

- (4) 第2、3回検討委員会開催日程調整  
第2回検討会における論点・議題の確認